



[発行] NPO 法人グリーンコンシューマー大阪ネットワーク

●〒565-0842 吹田市千里山東 1-14-26 ほぼエコcafé & Gallery NAZ(ナーズ)内

●年会費 1口 2000円(個人1口以上、学生半口以上、団体3口以上、賛助会員(会社)5口以上)

●郵便振替 00920-8-154437 ●TEL06-7222-8005 ●E-mail greencon@g2.xrea.com ●<http://www.greencon@g2.xrea.com>

#####

全国スーパーマーケット 環境調査からみえてきたこと

今後の展開 ～お店のプラスチック包装はどうなっている？～

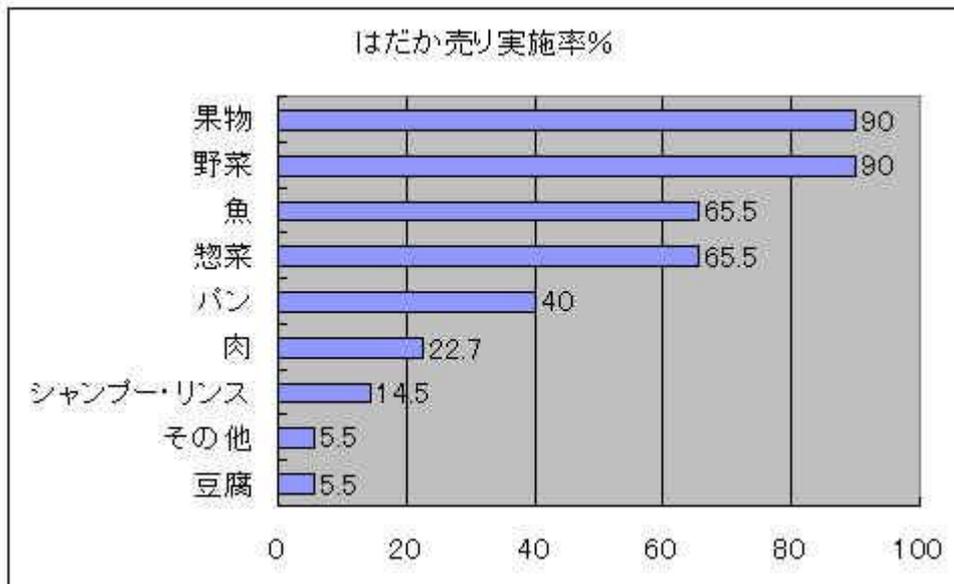
全国のスーパーマーケット136店(大阪府内13店)を対象に青果物の裸売の種類と面積、店頭のリサイクル回収箱の設置数2023年10月～11月で実施しました。仕掛け人、NPO環境市民グリーンコンシューマーの堀孝弘さんから6月22日にアジェンダ21すいたと大阪府民環境会議の共催で報告会を行いました。(くるくるプラザすいたにて、参加者21人)

青果物の裸売り

キャベツ1玉45%、大根39%、きゅうり30%、玉ねぎ24%、トマト23%、じゃがいも17%、なすび5%。葉物1%、バナナは2% でした。10種の商品全体では17%(棚面積比20%)と、日々買い物する消費者として、まだまだ品目を増やせるのではないかと実感しました。

20年前と販売者、消費者はどう変わったか

～グリーンコンシューマー大阪ネットワークが2002年に調査した大阪府内のスーパー、デパート110店～



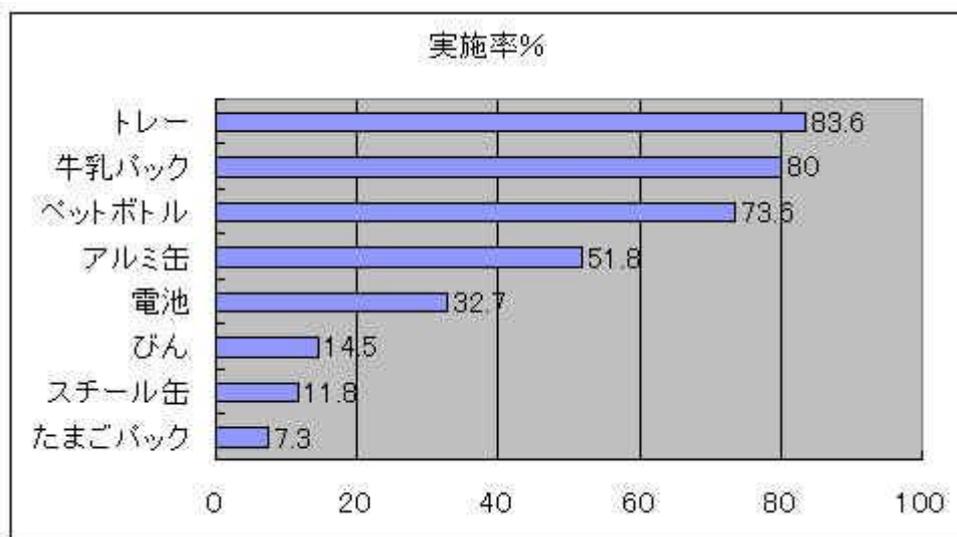
<課題>・大根、キャベツなど半分売りなどは加工食品となりラップをかけている。代替用品はできないか

- ・魚売り場では、注文後さばく店舗が多いので、マイ容器に入れてもらうひとを
- ・惣菜、パンもマイ容器持参で交渉を
- ・環境配慮の量り売り店舗の情報拡散、利用促進

店頭での資源物回収は

トレー88%、ペットボトル72%、アルミ缶41.9%、牛乳パック87.5%とあまりかわっていない。新しい試みとして、ペットボトル回収にポイント還元など有償回収しているところが25%で実施。

下の表は、2002年大阪府下のスーパー、デパート110店の実施状況（当会HP参照）



<課題>

店頭回収場所に持っていくのは消費者にとって当たり前になっている。ペットボトル、トレーなどの行政回収のあり方、それ以外の容器プラスチックの削減をどう推進していくのかは、大きなテーマだ。お住いの自治体の財政に占める廃棄物処理費用などもチェックし検討が必要。

とても便利で、暮らしを豊かにしてくれたプラスチック

プラスチックとどうつきあっていくか

世界の、人類の課題になった

日本では、プラスチック資源循環促進法が2022年4月施行され、提供する事業者はストロ―などを利用者にニーズを聞いてから渡すという緩やかなもの。

フランスのとirikumiは2020年2月に施行したフランス循環経済法で、小売店での1.5kg未満の未加工の野菜・果物のプラスチック包装の禁止など79条に及ぶ禁止、義務条項が盛り込まれている。

さらに注目すべきは、公共施設に冷水機の設置の義務付けが明記されている。

大阪府下で取り組みが進んでいる吹田市では、公共施設での無料冷水機設置マップ、アジェンダ21すいたではマイカップ、マイボトル持参でお得マップを公開している。

大阪市内での公共施設での無料冷却水の設置は、これからだ。気温の加速度的上昇にあわせて、給水機の設置はまったなし。リフィル（詰め替える）の活動を共にしませんか。